

事業所名

放課後デイサービスいっばい宮下

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

1月

25日

法人（事業所）理念		障がいを持って生活している人の希望であること							
支援方針		子供は皆、生まれながらに成長する力を持っています。さまざまな理由により成長が遅れることがあっても、「いっばい宮下」少しずつでも成長していくサポートをしていきます。							
営業時間		学校あり 土祝 春夏冬休み	14 9時 9	30 00分 00	17 15時 17	30 00分 00	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルや日常生活動作（食事、着替え、トイレでの排泄、身の回りの清潔など）を身につけるために、一人ひとりに合わせて介助方法を考え、支援します。							
	運動・感覚	運動遊び、感覚統合等を通して、身体感覚や感覚を刺激し、バランス感覚、空間認知力、運動機能などの発達を促します。のびのびと体を動かす楽しさを感じながら、繰り返し体験することで「できた!」という成功体験を積み重ねます。							
	認知・行動	感覚統合訓練を通して、身体感覚を刺激し発達を促します。季節ごとの行事や遊びを経験したりする中で五感を刺激し、学びにつなげていきます。							
	言語 コミュニケーション	安心できる環境の中で、信頼できる先生に自分の要求や気持ちを伝えたいという気持ちを育みます。一人ひとりに合わせて、意思の伝達ができるよう支援し、コミュニケーションの方法を学びます。							
	人間関係 社会性	小集団の中で、設定活動や遊び、運動に親しみながら、順番を守る、待つ、ルールを守る、感情のコントロールなどの経験を積み重ねて、社会生活に適応するために必要なスキルの獲得を支援します。							
家族支援		家族の困りごとや子どもの特性の理解に向けた相談援助を行うと同時に、家族のレスパイトケアも大切にしていきます。また保護者同士が気軽に話したり、情報共有したりできるよう、定期的に交流の機会を提供します。			移行支援		進路や移行先の選択について、家族への相談援助を行ったり、移行先との支援内容の共有や支援方法の伝達を行います。		
地域支援・地域連携		子どもが地域で適切な支援を受けられるよう、児童館や医療機関などの関係機関との連携を行い、子どもの状態や支援内容についての情報を共有します。			職員の質の向上		積極的に外部の研修や講習会に参加し、後日、学んできたことを発表したり、勉強会を開いたりしながら、職員間で情報を共有します。		
主な行事等		季節ごとの行事(花見、子供の日、七夕、夏祭り、水遊び、ハロウィン、クリスマス、お正月あそび、節分、ひな祭り、遠足等) 毎月1回避難訓練(火事、地震、不審者、竜巻台風について内容はローテーションで)、誕生日会							